

令和7年度 第3回 積志中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年9月1日（月）15時15分から17時00分まで
- 2 開催場所 積志中学校 会議室
- 3 出席委員 岩井 正次、上野 由紀夫(学校支援コーディネーター)、北 一樹、岡本 知之、林 和法、市川 和廣、内山 多紀子、高林 祐子、鈴木 達志
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 三輪 清(前学校運営協議委員)、中村 佐佳恵(欠席)
- 6 学 校 影山 ちか（校長）、山村 隆信（教頭）、松井 麻貴（主幹教諭・CS担当）、岩永 和也(教諭・生徒指導主事)、鈴木 佳奈子（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 教育委員会 加藤 大輔（教育総務課）
- 9 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 佳奈子

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員の意見を求めたところ、岡本委員から林委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）授業への地域人材の導入について
- （2）地域防災訓練について
- （3）「夏休み学習室」の振り返り
- （4）その他
 - ・制服アンケート結果について
 - ・部活動の地域展開について

12 会議記録

司会の松井から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- （1）授業への地域人材の導入について

上野委員(学校支援コーディネーター)より、地域人材の導入について紙面の提案がされ、それに対して委員からは以下の発言があった。

- ・回覧に連絡方法が電話しか載っていないが、メールでの問い合わせの方が応募しやすく、声を掛けやすいのでは。(高林委員、林委員)
- ・グーグルフォームでの募集がいいのでは。(北委員)
- ・一般の人が電話で学校へ問い合わせというのは、思ったよりハードルが高い。(岡本委員)
まずは電話での募集を待って、集まらなければ第2弾としてメールで問い合わせできるように募集をかけてみたらどうか。(岡本委員)
- ・現在は回覧をしてボランティアの募集をかけている状況であるが、詳しい日程等問い合わせがあれば学校の方で説明していく。(松井)

(2) 地域防災訓練について

松井教諭(主幹教諭・CS担当)から学校で行われる防災学習についての説明があり、それに対して委員からは以下の発言があった。

- ・地域の人達はどれくらい来るのか(林委員)
→今回は学校で実施する防災学習に顔合わせとして参加してもらう形をとるので、出欠席の把握はしていない。参加できる地域の方にゲストで来てもらってアドバイスをもらう。進行役は生徒たちで行う。(校長)
- ・今回顔合わせが出来たら、11月の防災訓練に向けて参加してほしいと地域の方から依頼してもらおうと生徒の意識が高まるのでは。(岡本委員)
- ・実際に避難勧告が出てきた場合のルートを中学生に把握してもらいたい。避難所も1次避難所と2次避難所があることを知っている人が少ない。(岡本委員)
- ・わかっているようでわかっていない事が多い。意識を高くしていかないといけないが、温度差があるので地域防災訓練に参加してほしい。(岩井委員)
- ・地域の人が参加しない町はどうするのか。(林委員)
→生徒がメインで行うという事であれば問題ないと思う。(岡本委員)

(3) 「夏休み学習室」の振り返り

上野委員(学校支援コーディネーター)より、夏休み学習室のアンケート結果を紙面での報告があり、それに対して委員からは以下の発言があった。

- ・参加した生徒は皆真面目に参加していたと思う。(林委員)
- ・顧問や担任ではなく、ポスターを見て自分の判断で参加してくれて嬉しい。(林委員)
- ・生徒から力量に合わせたテキストを用意してもいいのでは、という意見が出るなど真剣に取り組んでいる様子でとても良かった。(北委員、岩井委員)
- ・運営側のボランティアの募集も必要か?(林委員)
→去年は参加人数が多かったので、バタバタしていたが、今年の規模であれば必要ないと思う。(高林委員、内山委員)

(4)その他 制服アンケート結果について

岩永教諭(教諭・生徒指導主事)より実施された制服アンケートの結果について紙面での報告、説明があった。それに対して委員からは以下の発言があった。

- ・女性のスラックスは用意したほうがよいと思う。(岡本委員)
- ・価格の問題はとても難しい。安くする方法がなかなかないのでは。(北委員)
- ・制服の自由化というだけではまとまりがなくなってしまうので、ルールを決めた方がよいと思う。高校でスラックスを履いている女子生徒がいたが、違和感はなかった。セーラー服ももとは軍服なので、違和感ないのでは？(北委員)
- ・アンケート結果について、女子生徒だけ対象にしたら比率は変わってくるのでは。(岩井委員)
- ・そもそも何故制服を変えたいのか。個人の主張や私学の高校などが制服を変えるのはわかるが、機能性や安全性など目的を決めてからのほうがよいと思う。
実用性だけなら体操服でいいが、入学式や受験などマナーとして制服を着た方がよいと思うし、成長が感じられると思う。(北委員)
- ・私服の方がいいのでは。(岩井委員)
→私服は私服で選ぶ大変さや生徒同士の摩擦がうまれると思う。制服の在り方が変わってきている。今はむしろ制服で出かける事を楽しんでいる生徒も多い。(高林委員)
- ・アンケートの結果を見る通り、不満は金額に集中している傾向であり、女子のスラックスは前向きな意見が多かった。今後はこのアンケートをもとに女子生徒のスラックスを考えるという方向ですすすめていきたい。(岩永教諭)

(4)その他 休日の部活動の地域展開について

休日の部活動について校長より説明があり、それに対して委員からは以下の発言があった。

- ・受益者負担はどうするのか？部活は中学生教育の一端なので、習い事と部活を同じものとしてすすんでいるのは問題である。初期投資以外にも運営補助を市からしてもらいたい。(岩井委員)
- ・このままでは、部活をやりたい、強くなりたい子達は私学へ行ってしまうのでは。(岩井委員)
- ・金銭的に余裕の無い家庭の子は部活ができないことになる。(北委員)
- ・組織運営と技術指導に分けて立ち上げる時に枠組みを用意したらどうか。(北委員)
- ・仕組みが複雑になり、制約が増えて運営しにくくなっている。(岡本委員)
- ・地域に指導者がいなければ部活自体存続できないのでは。(林委員)
- ・今後子供たちが困らないようにして進めてほしい。(北委員)

その他報告事項等

- ・司会から、次回会議は2月16(月)15時15分から積志中学校会議室で開催する旨の報告があった。
- ・司会より、今後の行事のお知らせがあった。
10月2日：合唱コンクール(浜北文化センター)、10月31日：体育大会(積志中学校)
- ・市川委員より積志小学校区の運動会開催のお知らせがあった。